

気持ち新たに

平成18年雲南市消防出初式

1月8日、三刀屋文化体育館アスナルで雲南市消防出初式が開催され、消防団員1,409人が防火・防災への誓いを新たにしました。

式では速水市長の式辞や消防業務に功績のあった方や地域の無火災に貢献された分団などへの表彰が行われました。

また、高橋日出男団長が「今年は、島根県の消防操法大会が雲南市で開催されます。雲南市消防団全団員が消防技術向上に努めていただきたい。また、今年も、融和と勇気、元気をもって職務を全うしていただきたい」と訓示を述べました。

なお今年は、積雪により三刀屋川河川敷での一斉放水は中止となりました。



12月・1月 雲南市記録的な豪雪



も凄いかもしいない」と話していました。

この雪の影響で、損壊する家屋も出るなど市内各地で豪雪被害が出たほか、道路の除雪作業についても、12月期の稼働時間が昨年1年分の稼働時間をすでに越える状況となりました。

今後大雪が予想されますので、道路除雪の際には、路上駐車及び資材等の放置はしないで下さい。また、除雪車通過後の出入口等の排雪については、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



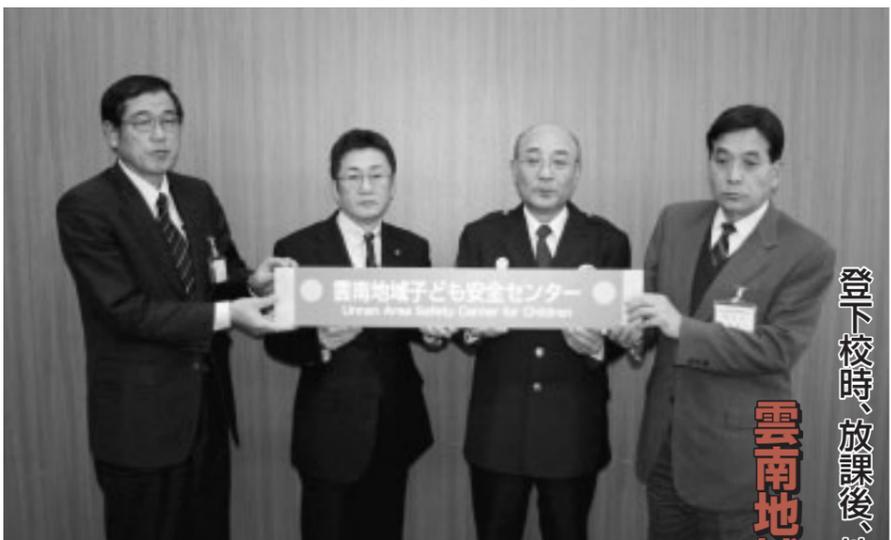
屋根からの雪下ろし作業をする姿も見られました。

昨年12月の初旬・中旬から、また、今年1月4日から降り積もった雪で、雲南市内は記録的な積雪となりました。12月は、非常に強い寒気が断続的に流れ込み、強い冬型の気圧配置の日が続きました。そのため、県内各地で積雪の最大値記録を更新。1月8日時点で、吉田町民谷地区では、170cmの積雪を記録しました。

吉田町内在住の方も「近年にない積雪量に驚いている。三八豪雪の時より

登下校時、放課後、地域での安全確保

雲南地域子ども安全センター設置



りをしていきます。

開所式には、市関係者や雲南警察署員などが出席。はじめに、土江博昭教育長が「最近、子どもたちの安心・安全が脅かされています。子どもたちが健やかに育つ地域づく

この安全センターでは、市や教育委員会、警察の職員を配置し、①子どもに関する相

談・支援業務、②少年の健全育成活動（各種啓発・ボランティアとの連携）、③学校・通学路の安全確保（パトロール・防犯訓練・安全点検など）を行うほか、子どもの居場所づくり事業と合わせ、子どもたちが健やかに育つ地域づく



子どもたちを守っていきましよう」とあいさつしました。

雲南地区の青少年に関する犯罪状況の説明に続き、石原憲夫雲南警察署長と雲南市・奥出雲町・飯南町の各教育長の4人が、協定書に調印し、雲南地域子ども安全センター業務がスタートしました。

子どもたちの安全確保に

子どもの居場所づくり研修会



よそ100人が参加。雲南警察署生活安全刑事課の塚本薫係長と尾添千賀子少年補導職員から実技をまじえながら指導を受けたり、安全チェックシートによる安全対策の再確認をしたりしました。市教育委員会では、来年度以降も実際に子どもたちの居場所で活動するスタッフの意見を聴きながら、実践的な研修会を開く予定にしています。

1月10日から12日にかけて、市内の各会場で、雲南市子どもの居場所づくり・危機管理研修会が開催されました。

この研修会は、今年度から実施している子どもの居場所づくり活動時における、不審者への迅速・的確な対応により、安全確保が速やかにできるようにと実施されたものです。

3日間の研修には、居場所づくり活動のスタッフなどお

